

南魚沼版 CCRC 構想推進プロジェクトチーム会議について

1. 組織の構成方法と会議のサイクル

プロジェクトチームのメンバー構成は、以下の担当部署から 1～2 名程度選出し、1 か月につき 1～2 回程度会議を行いながら CCRC 関連の連携ソフト事業の検討や「まちづくり」についての協議を進めている。

分野	担当部署	人数
地域再生計画策定	地方創生推進室	事務局
生涯活躍のまち構想策定		
CCRC 構想推進		
移住促進事業		
学術機関（国際大学）との連携		
国際理解教育・土曜学習	学校教育課	1 名
英語保育・	子育て支援課	1 名
医療機関・介護サービスとの連携 （地域包括ケアシステム）	保健課	1 名
健康増進・検診関係	介護保険課	1 名
起業・創業支援、各種産業との連携	商工観光課	2 名
グローバル IT パーク関連		
観光産業連携・情報発信		
生涯学習施設・スポーツ施設活用	社会教育課	1 名
地域連携	大和市民センター	1 名

2. 実施状況

5月13日

第 1 回会議 CCRC の概要、地域再生計画、生涯活躍のまち構想の説明と、プロジェクトチームの役割及びスケジュール確認

5月30日

第 2 回会議 担当課で想定できる CCRC 構想連携事業の提案出しと、CCRC 構想連携実施事業者選定についての説明と意見調整 実施

6月20日

第 3 階会議 内閣府の生涯活躍のまち形成支援チーム選出と、地域再生計画策定業務についての意見調整 実施

7月12日

第 4 回会議 CCRC 構想連携事業の具体的取組案抽出

3. 各課で連携を想定している事業 一覧

裏面のとおりに

【南魚沼版CCRC構想についての各課連携提案 一覧】

資料6-2

No.	担当課	事業概要	内容
1	学校教育課	土曜学習へのボランティア講師などとしての活用	・移住者の知識や経験を生かして、子供たちの土曜学習の指導者へ登録し、活躍してもらおう。 ・現在、学校教育課で実施している土曜学習の運営主体をCCRC民間事業者へ移管する。
2	社会教育課	南魚沼市後期教育基本計画「学びの郷南魚沼プラン」実施への移住者の受け入れ・活用	・「学びの郷南魚沼プラン」に基づいて実施する「市民カレッジ」に、CCRC移住者から講師・受講生などとして参加してもらい、地域交流を進める。
3	保健課	筋力づくり教室の開催	・市内100会場以上ですすでに行われている筋力づくり教室をCCRC地区でも開催する。 ・運動に興味がある移住者から筋力づくりサポーターとして活躍してもらおう。
4	保健課	ウォーキングのすすめ	・県健康ウォーキングロードに登録されている八色の森公園コースを移住者などへも積極的に紹介し、ウォーキングの習慣化と健康増進を図る。
5	保健課	外国人健診受診者の通訳ボランティア	・語学のスキルがある移住者から、外国人が乳幼児健診や住民健診に来所された場合の通訳として活躍してもらおう。 合わせて健診カレンダーや案内文の外国語版を作成してもらおう。
6	保健課	健康講座の開催	・萌気会や魚沼基幹病院、大和病院と連携し健康講座を開催する。講座は移住者のみでなく地域の人にも公開する。 ・専門教養スキルのある移住者が講師となり地域に向けて講座を開催する。
7	保健課	料理教室の開催	・食育推進の観点から地元の食を知るためにJAや食生活改善推進員と協力し、あぐりばーく八色で地元伝統食・郷土料理教室を行う。
8	地方創生推進室	地域再生推進法人を組織するにあたり、この法人に市の担当課と連携した中で各種事業の推進を担ってもらおう。	・地域再計計画の認定に合わせ、当該事業を進める推進法人を設立する。この法人に行政やCCRC実施事業者では出来ない分野の事業を市と密な連携を取った中で進めてもらう。 原則として自主採算による事業経営を行なってもらい、より特色のある事業を進めてもらう。
9	地方創生推進室	移住者能力バンクの創設	・移住者が移住する際、経験や技術・能力などについての情報を申告してもらい、これを元に「移住者能力バンク(仮称)」を整備する。 ・登録者の積極的な活用を市内の企業・事業者、学術機関、社会交流団体に促し、有効に利用出来るようにすることで、新たな相乗効果につなげる。
10	介護保険課	移住者向けに整備予定のフィットネス施設を活用し、軽度者への介護予防事業(総合事業)を実施する。移住者から指導員など担ってもらい、お互いの健康増進を図る。	対象者: 要支援1、2及び事業対象者 フィットネス機器を使った筋力アップや、フィットネスルームで負担の少ない運動、ストレッチなどによる筋力低下予防の事業を実施。 介護保険事業所のように専門職を配置要件とせず、移住者から指導員を担ってもらうことにより、少ない予算で事業を実施する。
11	子育て支援課	企業主導型保育事業	・企業主導型の事業所内保育事業を主軸として多様な就労形態に対応する保育サービスの実施。 (小規模19名定員くらい)
12	商工観光課	ヘルスツーリズム推進事業	・基幹病院や市立ゆきぐに大和病院と連携し、首都圏のアクティブシニア層などに対し、人間ドックを併せた観光コース等を提供する「健康・滞在型ツーリズム」を実施する。
13	商工観光課	グリーンツーリズムとの連携	・田舎に泊まって農作業などを体験、地域の自然・文化に触れ、地元の人との交流を楽しんでもらおう。 例) 移住者の家族・親族等の短期滞在型貸農園整備など
14	商工観光課	案内看板整備事業	・CCRC、ITパークに合わせた中で整備する必要がある英語表記などの看板の設置を進める。また、AR看板の設置も検討。
15	商工観光課	グローバルITパーク南魚沼との連携事業	・経験豊かな移住者からグローバルITパーク南魚沼の企業にアドバイスやサポートをしてもらう。 ・起業する意欲のある方は、自らITパークで起業してもらう。
16	商工観光課	南魚沼地域産業支援プロジェクト(ICLOVE)との連携	・移住者から創業セミナー等の講師として活躍してもらおう。 ・企業と事務局の橋渡しをしてもらう。 ・市内企業にアドバイスやサポートをしてもらう。